

## 第 5 回 南砺市行政改革懇談会 会議メモ

平成 18 年 1 月 31 日(火)

午後 2:00~3:51

福野庁舎 講堂

### 出席者

#### 懇談会委員

川合友之、斉藤昭一、藤井 貢、清水壽一、北田正雄、塚田久俊、寺井孝夫、中藪淳一  
長尾治明、石黒厚子、奥村晃治、麻生 博、石崎直樹、岩田繁子、野村玲子、野原一司

#### 行政改革推進本部

溝口市長、清都助役、山本収入役、梧桐教育長、向川市長公室長、大和民生部長  
堀産業経済部長、畑建設部長、平本議会事務局長

#### 事務局

三谷総務部次長、青島行政管理室長、石崎主幹、小森主査、森主事 以上 30 名出席する

#### 傍聴者

報道関係

### 【開会宣言】

#### 【市長あいさつ】

行政改革懇談会は、各種基本計画策定審議会等の中でも、市で一番最初に立ち上げた。本日で 5 回目となり委員各位には熱心に議論していただきありがとうございました。市では今、18 年度の予算編成中であるが、この行革懇談会での意見、提言を 18 年度予算に反映できるものは反映したいと考えているので、よろしく願いしたい。

#### 【長尾会長あいさつ】

本日は最後の行政改革懇談会となるので、協力のほどよろしく願いしたい。

### 【報告事項に入る】

#### 事務局説明

- ・第 4 回南砺市行政改革懇談会 会議メモを市のホームページに掲載していることへの了解をもらう。
- ・第 4 回懇談会の意見での指摘事項について説明する。

### 【協議事項に入る】

#### 事務局説明

- ・懇談会の「提言」(案)について  
を説明

### 【意見交換に入る】

各委員 文面について表現の仕方を統一するとともに、解かり易い文言で表現されたい。

会長 そのように取りまとめます。

委員 この広い範囲を良くまとめたものだ。私は概ねこの表現でいいのではないかと。ただ別添とする意見も市民の皆さんに公表されるべきものと考えますが、どのように取り扱うのか。

事務局 この別添の意見は提言と合わせて、市のホームページに全文を掲載し公表したい。

委員 P8 上から 2 行目「市が所有している土地や建物などで使用されていないもの、活用され

ていないものなどがいないか調査を行い」は前回の意見を踏まえると「庁舎」が抜けているのでないか。「市が所有している庁舎も含めた土地や建物などについては活用状況を調査し、さらに有効活用方法を模索する」でないか。また、P9 上から 13 行目「10 年以内に職員を 200 人削減する」を前回の意見からすると「10 年以内に職員を 200 人以上削減する」でないか。

委員 「10 年以内に職員を 200 人削減する」表現は、もし、「10 年に職員を 200 人削減する」となっておれば「200 人以上削減する」とすべきである。この案では「10 年以内に」となっており、この原文でいいと思う。

委員 「10 年以内に職員を 200 人削減する」と「10 年に職員を 200 人以上削減する」では意味が異なる。「10 年以内に職員を 200 人削減」ではここで止まってしまふ。「以上」を付けるべきでないか。

委員 頭の痛い問題だが、10 年とか 200 人とか、あまり言葉でしぼる必要はないのでは。

委員 「10 年に職員を 200 人削減する」は合併協議会で取り上げた言葉なので、数字は入れるべきだ。

委員 「提言」だからこそ、しぼられた方がいいのでは。「10 年に職員を 200 人以上削減する」の表現がいいのでは。

会長 私は「10 年以内に職員を 200 人削減」の方が計画性は見えるように思う。

委員 「10 年で 200 人以上削減」がいいのでは。

委員 「10 年以内に職員を 200 人削減する」の後段の文面は「よう要請するとともに、この数値目標で定員の適正化計画を策定し、できるだけ早期の目標達成に努められたい。」と記載されており、P15 上から 7 行目「200 人削減する」からではバランスが悪いが、この文面で理にかなっていると思う。

委員 そもそもこの議論は、人件費が多いので単に人数を減らす計画ではなく、給与も削減すべきという議論であった。財政健全化を目指すためには「以上」にすべきでないか。

委員 職員を何人減らすという事より「市民の幸せが基本」である。職員をいかに働く気にさせるかが大事である。あまり固定的に考える必要はない。

委員 「10 年で 200 人」は努力目標である。職員数については、メリハリのある人事を期待している。

市長 少し経緯を説明すれば、まず、10 年の期間を設けたのは、地方交付税の合併算定替が 10 年間で終わるので、その間に市の体制を整えなければならない。職員の 200 人削減については、職員は地方公務員法で身分保障されておりリストラはできない。しかし、毎年定年で約 30 人程度の退職が見込まれる。採用を約 10 人程度に抑えれば、毎年 20 人削減でき 10 年間では 200 人削減できることになる。この数字には自己都合の退職は入っていないので、10 年より早く達成できると思う。これは合併協議会で決めた数値目標である。

会長 後段の文面には「数値目標で定員の適正化計画を策定し、できるだけ早期の目標達成に努められたい。」とあり、原文のままにさせていただきたい。

全委員 「異議なし」の発言

会長 もう一点は「庁舎の問題」で P17 上から 7 行目「「遊休市有財産の有効活用と処分の促進」で市有地の利用と売却に 4 庁舎や各行政センターの土地建物も加えるべきだ。」との意見が

前回あったが「提言」に記載すべきか伺いたい。

委員 これでは、市民から誤解される。「市有地の売却に4庁舎や各行政センターの土地建物」は入れるべきでない。

委員 P8上から2行目「市が所有している土地や建物などで使用されていないもの、活用されていないものなどがないか調査を行い」と記載あるが、これでは、「使用されていないもの、活用されていないもののみ調査を行う」となるので、私は「市が所有しているものすべてを調査」すべきでないかと思う。

委員 委員の意見はよく解るが、今、市民が一番心配していることでもある。「意見はあったが提言ではこのように掲載した。」でいいのではないか。

委員 表現の仕方は、完全にしぼるのでなく、今から進めて行く概念でいいのでは。

会長 では、原文のままでもいいですね。

「了解」の声あり

会長 では、原文のままにさせていただきます。

委員 P10上から2行目「行政の説明責任を果せる市職員の養成」とあるが、どのような市職員をいうのか。また、この文中に、「公に奉仕する市職員」の意味合いを入れて欲しい。

事務局 公務員の仕事は「公に奉仕する」ことが大前提あり、そのうえで職員の資質向上や能力を高めることが必要である。また、行政の行うものの中に、住民の感覚で十分でないものがあったとすれば、なぜその様になったか明確に説明する責任がある。よってその様な能力のある職員を育成する必要がある。

委員 新しい職員もいるので、念押しのためにも「公に奉仕する市職員」の意味合いをいれて欲しい。

事務局 検討します。

委員 P7上から15行目「南砺市のように広域な中山間地域を抱えている自治体においては、その恩恵も少なく、将来にわたって厳しい財政運営を迫られると想定されます。」と記載されているが、これを一般の方が読まれると、どのようにとられるか疑問に感じている。これでは「中山間地域を抱えている地域は恩恵がないのか」と感じる。

事務局 三位一体の改革の中で、税源移譲は所得税から住民税へ想定されており、人口の少ないところが住民税の税源移譲をされても1人当たりの税率が決まっているので、都会に比べると恩恵が少ない。人口の減っているところはすべてこのような問題を抱えている。

委員 この文面は「恩恵も少なく」が問題であり、表現としては「課題がある」等がいいのでは。

委員 この文面は、新聞に記載されているような表現なので、さらりとした表現でいいのでは。

会長 修正します。また、今までの「提言」の修正箇所についても、会長と副会長で責任もって修正します。内容については、私達2人に一任させていただきたい。

全委員 「了解」の発言あり

会長 その他で意見はありますか。

委員 「公の施設」の中に、地域振興の発展のために作った施設もある。管理を指定管理者制度として「官」から「民」へ移行した場合、行政にも最終責任があり、施設の運営形態等をチェックする機能を持って欲しい。

委員 「官」は奉仕する精神や公共性が重視で、「民」は利益追求形でお金が一番大事である。

今、「官」は「民」に移行しつつある中で危機感を感じている。今後は「官」と「民」の両方のバランスが大事である。

会長 その他で事務局より何かありますか。

事務局 ・「南砺市総合計画」の中間報告をする。

1月17日に第1回の審議会（委員30人）が開催された。

次の資料の内容を説明する。

- 資料
- ・南砺市総合計画策定のための基本方針
  - ・調査の概要（3,000人対象 回収率98.7%）
  - ・アンケートまとめ
  - ・市政への希望（要望）

・今後の「行政改革懇談会」について説明する。

「提言」についての会議は今回で最後となる。本日の意見を修正した「提言書」を2月17日（金）午前10時に会長・副会長の2人で市長に提出していただきたい。また、今後の活動として、委員の任期は2年間であることから、「行政改革の実施計画」が完成すれば4月以降に懇談会を開催し委員の皆さんに説明したい。また、19年以降についても、年1回程度の懇談会を開催し、市の行政改革の進捗状況を報告したい。

会長 助役さんから一言いただきたい。

助役 委員の皆さんには今まで、行政改革懇談会に出席していただき、そして貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。後日、「提言書」もいただける訳ですが、それを十分に検討し、今後しっかりと行政改革を推し進めて参りたい。

本日は、誠にありがとうございました。

会長 事務局からも説明がありました「提言書」の提出について、私と副会長で2月17日に市長に提出したい。

委員の皆様には、今まで5回にも亘り、会議のご協力いただき誠にありがとうございました。

【閉会宣言】